

夏季部活動等における熱中症に関する対応について

日頃より本校の教育活動に対し、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。
今夏も気温がかなり上昇するようですので、夏季休業日中等の校内活動や部活動等について下記のように対応しますので、よろしくお願いいたします。

1. 熱中症指標への対応

次の(ア)から(エ)の範囲では、熱中症による重大な事故が起こる可能性があり、活動前に WBGT を測定し、十分に配慮して活動を行う。

熱中症指標計は日直の教員が定められた場所に設置し 9 時、12 時、15 時に測定し、記録簿に記入し、活動に危険が及ぶ場合は、黒板表示及び校内放送を入れる。管理職がいれば報告する。日直のいない活動日(土日等)には顧問が指標を必ず確認する。

WBGT と気温の 2 つの指標のうち、どちらかが基準に当てはまる場合は以下のように対応する。

(ア) 熱中症指標計の WBGT の値が、 31°C 以上の場合あるいは気温： 35°C 以上

活動優先ではなく、人命を第一優先と考え運動は原則として中止

- ① 該当場所での活動をただちに中止し、測定値が基準を下回るまで活動を行わない。
- ② 公式戦前などで活動を行うケースにおいても、この時点で一旦休息をいれ、顧問は情報を収集する。活動再開に当たっては、木陰やエアコンのきいた所へ活動場所を移動したり散水機を利用するなど工夫する。生徒一人一人の健康観察と意思確認を行う。
- ③ 活動を中止とした場合は活動時間に時差を設けたり活動日を他に振替えることがある。

(イ) 熱中症指標計の WBGT の値が、 28°C 以上 31°C 未満の場合 気温： 31°C ～ 35°C

- ① 激しい運動や負荷の大きい運動は避ける。
- ② 10～20 分おきに休憩を取り、水分を十分に補給し、健康観察を行う。

(ウ) 熱中症指標計の WBGT の値が、 25°C 以上 28°C 未満の場合 気温： 28°C ～ 31°C

- ① 30 分おきに休憩を取り、水分を十分に補給し、健康観察を行う。

(エ) 熱中症指標計の WBGT の値が、 21°C 以上 25°C 未満の場合 気温： 24°C ～ 28°C

- ① 積極的に水分を補給する。

(十分に熱中症による死亡事故の可能性のある状態)

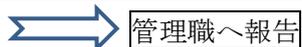
(オ) 熱中症指標計の WBGT の値が、 21°C 未満の場合 気温： 24°C 未満

- ① 通常では熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給が必要。

2. 体調不良者への対応

- (ア) 活動開始前に熱中症対策控室（第二保健室）のエアコンを日直教員がつけてから活動を開始する。
- (イ) 活動開始前に、前日等に風邪や熱中症等の症状がなかったか、朝食（午後の活動では昼食）をとってきたかの確認等を行い、熱中症になる可能性が高いと判断した生徒は活動をさせない。
- (ウ) 体調不良者へは「木陰など涼し目の暑い環境」で様子を見るのではなく、必ず「屋内のエアコンのついた場所」で、スポーツドリンクなどで補水を行いながら休ませる。その場から目を離さないよう人員配置する。
- (エ) 具体的な対応

- ① 呼びかけにこたえない、けいれんのある場合は、まず救急車を呼ぶ。



- ② 必ず検温する（低く出るときは汗を拭いて再検）
体温が高い場合は、特に、首回り、わきの下、鼠径部（足の付け根）をアイシングする。
- ③ 原則として、塩分を含む水分（スポーツドリンクなど：保健室の冷蔵庫）を摂取させ、エアコンの効いている部屋で、安静にして様子を見る。（必ず教員が付き添う）
- ④ 水分が自力でとれない場合は、急激に悪化する可能性がある。
- ⑤ 保護者へ連絡し、引き取りを要請する。
- ⑥ 回復して活動へ復帰すると、再度悪化する可能性が高いので当日の再参加は原則なしとする。
- ⑦ 熱中症の症状について
めまい・ふらふら感・失神・筋肉痛・筋肉の硬直・大量の発汗・頭痛・腹痛・吐き気・嘔吐・倦怠感・虚脱感・高体温・意識障害・けいれん・手足の運動障害
- ⑧ 早退について
活動中に具合が悪くなり、早退させる場合、必ず保護者または家庭緊急連絡先に連絡する。軽度であれば、保護者や本人から帰宅した旨、連絡を入れてもらい帰宅を確認する。
症状が重いと判断した場合、保護者に引き取りに来ていただく。保護者へ連絡が取れない場合には、一人では帰宅させない。具合によっては病院に搬送する。
早退（下校）させた生徒については、部活動後に家庭に連絡を入れて保護者や本人に無事を確認する。

3. その他

- ① 顧問は活動と活動後の帰宅させる際の健康観察を行う。
- ② 公式戦、練習試合などで外に出る際には生徒の緊急連絡先を把握しておく。
- ③ 午前や午後の涼しい変則的な時間帯に活動する場合は保護者への連絡・了承を得る。

※ 熱中症に対する十分な警戒をお願いいたします。お子様が発熱、頭痛・腹痛、嘔吐、睡眠不足、食欲不振などで、体調がすぐれない場合は無理して登校させずにご家庭で様子を伺ってください。活動前の食事がしっかりととれているかをご確認の上、部活動に参加させるようにしてください。